

令和7年度 事業所評価

利用者アンケートの結果を受けて

令和7年10月13日（木）

12時～12時15分

出席者：二丹田、高橋、金澤、松永、座間、川村、今井、野呂

契約時の評価

コメントを受け、実際のサービスの例を示して、契約者様が想像ができるような説明の工夫をしていく。

いつでも中止や変更ができるように説明を行い、試して見てほしい、との趣旨を説明していく。
管理者にスタッフも可能な限り同行し、質問に答えられるよう、サービスを熟知していく。

サービス提供体制、内容

再度、評価を下げてしまった項目。前年度は利用者数が少ない年度だったように思う。

土日祝日はヘルパー1名で14件前後の訪問をするため、更に冬季になり移動時の時間も増えるので利用者数を考えた方が良いのではないか。

重症度も高くなり、契約時の回数より増えている方が多くなっている現状。

ご家族の都合で休日の訪問回数が増えたりと更に圧迫している。

時間の余裕がないことは利用者には話してはいないが、態度に出てしまうのではないか。

スタッフの増員は見込めないので、新規の受け入れは今後もせず、施設入所の方もいるため動向を見て行く事とする。

（現在もヘルパーの業務を看護師が担っているケースも多く、看護師の退職が1名出てしまい、今後さらに逼迫してしまう事が予測される。

スタッフ募集は続けていく。

利用者への接し方

勤務の余裕があれば、ゆっくり話を聞いてあげられるのに、と思う事も多々ある。

認知症の方がほぼ全員の為、サービス内容が同じでも徐々に時間が掛かることが増えているのも実際。

経過も長くなっている分、自分たちも馴れ合いになっていると感じる部分もあったため、この機会に自己啓発を行い、見直ししていく。

総合的

各項目の評価で下がっている部分が多くあったが、いずれも好評と概ね好評との高い評価を頂けた。

総合的な評価は前年度よりも上がっているため、当社のみに関わらず、このサービスが地域に根付いていくよう、スタッフ一同、努力していきたい。